

中野隆史先生・立田ルミ先生退職記念号に寄せて

経済学部長 ^{チョン}全 ^ゼ載 ^{ウク}旭

中野隆史先生・立田ルミ先生は2017年3月定年を迎えられ、本学経済学部の教授職をご退任されました。経済学部教員一同は、先生方の本学部への長年のご貢献に対して感謝の気持ちを込め、『獨協経済』の月号（第100号）を両先生の退職記念号とさせていただきます、これを謹んでご贈呈させていただきます。（ご贈呈させていただくことにしました。）

中野隆史先生は、1971年7月に東京医科歯科大学医学部医学科をご卒業後、同大学医学部附属病院精神科・神経科医員、正慶会栗田病院精神科医員を経て、1974年4月に獨協医科大学精神神経医学講座助手に着任されました。1980年6月に同講座の専任講師、1996年4月に同講座の臨床助教授、同年7月に同講座助教授に昇任されました。この間、1990年7月から同大学老人性痴呆疾患センター副センター長をお務めになり、1992年1月には獨協医科大学より博士（医学）の学位を授与されました。獨協大学へは、2002年4月に経済学部教授として着任され、同時に保健センター附属診療所長に就任されました。2003年4月には保健センター所長に就任され、ご退職まで在任されました。このように、中野先生は、精神保健分野の専門医・指導医のお立場から、カウンセリングなどを通して本学の学生ならびに教職員の精神衛生の向上に長年にわたり多大な貢献をされて来ました。

本学における教育活動では、「精神保健福祉論」を担当され、ゼミでも多くの学生達を育ててこられたなど、専門教育にも貢献されて来ました。

中野先生の研究分野は、臨床精神医学、臨床てんかん学、臨床神経生理学、老年精神医学と広範囲にわたり、また、学校精神保健、産業精神保健といった社会的要請の大きな分野にも及んでいます。特に、高齢者の定量脳波所見と知的機能の関連およびその継時的変化に関するご研究では、従来、視察的・定性的に判定されてきた脳波をコンピュータを用いて定量解析してその微細な変化を捉えることが出来るようにし、それを指標として、健康な老人の脳波と知的機能の経年変化を9年間にわたって追跡研究した結果、健康な老人では老年前期までは脳機能の低下を反映する脳波変化（徐波化）は起こらず、80歳を超える老年後期から知的機能の衰退とともに脳波の徐波化が起こること、脳波の徐波化と知的機能の低下は生命予後と密接に関連していることを明らかにされ、高齢者の知的機能に関する研究に大きな貢献をなされました。

立田ルミ先生は1969年3月に津田塾大学学芸学部数学科をご卒業後、1972年に津田塾大学大学院理学研究科修士課程（ソフトウェア工学専攻）を修了されました。1969年4月に獨協大学電子計算機室教務職員に入職され、1970年4月に獨協大学経済学部経営学科助手に就任されました。その後、1974年4月に専任講師、1980年4月に助教授、1988年4月には教授に昇任されました。本学計算センター所員、情報センター研究員、情報センター主任研究員、情報学研究所所長を兼任され、本学の情報教育と研究のために多大なる貢献をされました。1990年4月から本学大学院経済学研究科経済・経営情報専攻教授を兼任され、2010年4月には経済学研究科委員長に就任し、大学院の要職をお務めになりました。2004年には本学キャリアセンター所長に就任し、重責を担っておられます。また、イリノイ大学 CERL 客員研究員、同大学 ETAG 客員教授としても研鑽を積み、得られた知見を本学の情報教育のために尽くされておられます。

学外でも、私立大学情報教育協会広報委員、放送教育開発センター研究員、メディア教育開発センター研究員、私立大学情報教育協会 IT 化フォーラム委員、メディア教育開発センター客員教授などに就任され、情報教育の発展に多大なる貢献をされました。学会活動としても、情報処理学会、教育工学会、教育システム情報学会、CIEC などで数々の理事、委員長、幹事、委員を担当されており、特に情報処理学会では教育とコンピュータ研究会幹事、情報教育シンポジウムプログラム委員長、代表委員、一般情報教育委員会幹事などを担当され、情報教育研究の発展に多大なる貢献をされました。草加市でも次世代育成支援対策地域協議会委員、情報公開・個人情報保護審議会委員などを務め、その功績を称えて 2015年には草加市から表彰されました。

先生のご専門は教育工学、計算機科学で、コンピュータやマルチメディアを利用した教育のコース開発のために、インターネットの教育利用の調査と分析、ネットワーク利用の効果測定、マルチメディア対応コースの開発と運用、教材開発支援システムの研究などを行われ、著書、論文、学会発表などで数多くの業績を積み重ねておられます。

以上のように本学部はもとより本学への多大な貢献をされてきた中野隆史先生・立田ルミ先生が退職されることは経済学部として大変残念なことと感じています。

なお、獨協大学は中野隆史先生・立田ルミ先生の長年のご功績を讃えて、2017年4月に名誉教授の称号を贈呈いたしました。先生方には引き続き経済学部に対してご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。どうぞいつまでもご健康でご活躍されることをお祈りいたします。